

中病第46号
平成30年5月31日

中津川市長 青山 節児 殿

中津川市民病院
病院長 安藤 秀男



業務状況説明書類の提出について

中津川市病院事業の設置等に関する条例第7条の規定による業務の状況を説明する書類の作成のため、別紙のとおり報告します。

記

1. 平成29年度下半期業務及び経理の状況（中津川市民病院）
2. 平成30年度予算の概況及び経営方針（中津川市民病院）

平成 29 年度下半期の状況（中津川市民病院）

平成 29 年度下半期の状況は、延べ入院患者数で 46,427 人(1 日あたり 255.1 人)、病床利用率は 70.9%でした。これを前年度下半期と比較すると、3.6 ポイントの増となりました。延べ外来患者数は、92,638 人（1 日あたり 772.0 人）でした。これを前年度下半期と比較すると、1 日あたりでは、12.9 人の減となりました。

医業収支の状況は、医業収益が 3,471,243 千円（前年度比 103.0%）、医業費用 4,098,681 千円（前年度比 112.1%）で、医業損失 627,438 千円発生しました。経常収支の状況は、医業外収益が 45,082 千円（前年度比 97.9%）、医業外費用は 262,704 千円（前年度比 99.1%）となりました。この結果下半期の経常損失が、845,060 千円発生しました。

なお、上半期の経常収支において、558,946 千円の経常利益が生じていましたが、通算で 286,114 千円の経常損失となり、平成 29 年度においては、労働基準監督署の是正勧告に伴う過年度分の時間外手当などを特別損失に計上したことにより 399,058 千円の純損失が見込まれます。

平成29年度下半期の概況（中津川市民病院）

1患者利用状況

単位：人

区 分	下半期	月平均延数	一日平均数
入 院	46,427	7,737.8	255.1
外 来	92,638	15,439.7	772.0
合 計	139,065	23,177.5	1,027.1

2診療収入状況

単位：千円

単位：円

区 分	下半期収入	月平均収入	一人一日あたり 診療収入
入 院	2,243,321	373,886.8	48,319.3
外 来	1,018,312	169,718.7	10,992.4
合 計	3,261,633	543,605.5	*****

3経理の状況

収益的収支

単位：千円

区 分	金 額	区 分	金 額
病院事業収益	3,516,325	病院事業費用	4,474,329
医業収益	3,471,243	医業費用	4,098,681
医業外収益	45,082	医業外費用	262,704
		特別損失	112,944

資本的収支

単位：千円

区 分	金 額	区 分	金 額
資本的収入	606,674	資本的支出	500,770
出資金	373,466	建設改良費	175,293
企業債	216,100	企業債償還金	307,697
補助金	6,508	修学資金等貸付金	17,780
貸付金返済金	9,600		
寄付金	1,000		

平成30年度中津川市病院事業経営方針（中津川市民病院）

1. 地域医療における役割強化に努めます。

【重要項目】

①診療部の強化

- ・中長期観点からの医師確保

【重要項目】

②看護部の強化

- ・中長期観点からの看護職・補助者等の適正人数検討及び確保

【重要項目】

③医療技術部の強化

- ・中長期観点からの医療技術職・薬剤師の適正人数検討及び確保

【重要項目】

④事務部門の強化

- ・中長期観点からの事務職・補助者の適正人数検討及び確保

【重要項目】

⑤地域内の病院間役割分担の推進

- ・市長方針に基づき、当地における医療機能分担の推進
- ・新公立病院改革プランに基づく、地域包括ケアシステムの検討

⑥地域医療連携強化

- ・近隣医療機関へのニーズ調査
- ・新体制の適切な運用
- ・紹介患者数前年度比5%増加、逆紹介患者数前年度比5%増加

- ・在宅療養後方支援病院、生活支援入院の安定的運営

2. 患者様の権利や満足度向上を進めます。

⑦接遇改善

- ・患者様との信頼関係を築き、患者様の満足度の向上
- ・病棟、外来、救急外来など問題とされやすい部署別に改善計画の立案と実行

⑧施設環境の改善

- ・安全性と働きやすさを考慮した、施設環境の改善
- ・売店、レストラン等の患者アメニティの改善
- ・地域の役割を意識した施設の整備

【最重要項目】

⑨病院機能評価の受審

平成31年度受審を意識した環境整備と制度の見直し
円滑な受審のための組織づくりと運営

⑩情報の開示・発信

- ・職員確保に繋がる情報の発信
- ・市民への十分な周知（地域医療、臨床情報、経営状況、患者様満足度、職員満足度等）
- ・職員への情報発信（臨床情報・社会状況等、職員が知るべき情報の発信）

3. 知識や技術向上のための教育強化に努めます。

⑪高額医療機器・医療機器の購入についての長期計画策定と補助金等の検討

- ・高額医療機器購入内容、購入順の検討
- ・高額医療機器導入の効果を検証

- ・医療機器の中長期的導入計画を含む施設環境を改善し、安全性の向上につなげる
- ・国・県等の補助金事業及び外部資金の導入の検討と申請

⑫職員のスキル向上

- ・人事評価の確実な実施と評価項目の検討

4. 協働意識の醸成やコミュニケーションを図ります。

【最重要項目】

⑬医療安全の強化

- ・職員教育の徹底と職員（特に医師）の個別研修の導入
- ・医療事故の対策・対応
- ・医療事故を無くす、医療アクシデントを減らす
- ・防止、対策の検討及び実施した対策の評価

⑭感染対策の徹底

- ・職員教育の徹底
- ・安全な医療を第一に、経済性も考慮した感染対策の徹底
- ・耐性菌対策、新興感染症、輸入感染症を含む感染対策の整備
- ・継続的な担当者の養成

⑮職員満足度の向上

- ・職場満足度調査の結果をもとに具体的な方針の提示
- ・離職防止につながる具体的提言と実施

5. 健全経営を確立します。

⑯診療報酬業務の適正化と新医療制度、診療報酬制度への対応

- ・新診療報酬制度への対応
- ・診療単価の前年度比 5%増加
- ・外来・入院診療の効率化（最大収益と最少減点）
- ・最新の医療情勢の情報分析、対策の立案、実施

【最重要項目】

⑰病床の効率的運用

- ・地域包括ケア病棟 東4階新規開設と 79床での安定運用（利用率 90%）
- ・急性期 5病棟 病床稼働率 90% 7対1入院基本料の維持
- ・診療報酬改定に対応した病棟運営（入院前から退院後を総合的に意識したベッドコントロール）

【最重要項目】

⑱外来の効率的運用

- ・市長方針を意識した外来の整備

【最重要項目】

⑲健康管理センターの収益増加

- ・健康管理センターの収益前年度比 5%増加

⑳外来化学療法の集約

- ・医療の安全と収益性を意識した外来化学療法の集約を行う
- ・認定看護師等による積極的な運用体制を確立

㉑費用の適正化

- ・前年度比 5%経費の削減
- ・外部契約業者各種との契約の適正化

平成30年度予算及び業務量（中津川市民病院）

1患者利用予定

単位：人

区 分	年度間	月平均延数	一日平均数
入 院	97,072	8,089.3	266.0
外 来	202,520	16,876.7	830.0
合 計	299,592	24,966.0	1,096.0

2診療収入予定

単位：千円

単位：円

区 分	年度間収入	月平均収入	一人一日あたり 診療収入
入 院	4,808,080	400,673.3	49,531
外 来	2,187,216	182,268.0	10,800
合 計	6,995,296	562,610.4	*****

3経理の予定

収益的収支

単位：千円

区 分	金 額	区 分	金 額
病院事業収益	8,023,841	病院事業費用	8,023,841
医業収益	7,488,689	医業費用	7,869,439
医業外収益	535,152	医業外費用	145,542
		予備費	1,000
		特別損失	7,860

資本的収支

単位：千円

区 分	金 額	区 分	金 額
資本的収入	953,127	資本的支出	1,270,691
出資金	357,627	建設改良費	697,448
企業債	594,500	企業債償還金	534,683
貸付金返済金	1,000	修学資金等貸付金	38,560